

# 第23回むつ市総合教育会議議事録

開催日時： 令和5年5月25日（14：00～14：50）

開催場所： むつ市役所 第4会議室

出席者： 山本知也 市長  
阿部謙一 教育長  
田中志昌 教育委員  
黒木和之 教育委員  
納谷順子 教育委員  
長岡俊成 教育委員

事務局 教育委員会 伊藤 教育部長  
畑中 施設整備技術監  
鷲岳 政策推進監  
澁田 デジタル教育指導監  
畑中 総務課長  
石川 副理事（学校教育課長）  
桜井 副理事（生涯学習課長）  
（中央公民館長）  
山崎 副理事（脇野沢公民館長）  
畑山 地域クラブ企画推進課長  
金浜 川内公民館長  
二本柳 大畑公民館長  
新田 総務課主幹



# 1. 開会

**事務局：** ただ今から、第23回むつ市総合教育会議を開催いたします。

今回は、むつ市総合教育会議設置要綱第4条第1項に基づき、市長が招集し、本日は、同設置要綱第2条第2項の規定により、むつ市教育大綱事業の実施計画について協議いたします。はじめに市長からあいさつがございます。

【あいさつ省略】

【構成委員紹介省略】

# 2. 議事

**山本市長：** 山本市長： それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。最初の議事案件は、令和5年度むつ市教育大綱事業実施計画案についてです。委員の皆様には、事前に資料をお渡ししており、記載内容についてご覧いただいていると思いますので、改めて、各所属より説明をお願いしたいと思います。

はじめに、総務課からお願いします。

**畑中総務課長：** 総務課です。(資料の)5ページをお開き下さい。

総務課では、各所属における主な取組とつきまして、教職員の働き方改革の推進を追加いたしました。事務内容につきましては、7ページをご覧ください。勤怠管理付きタイムレコーダー導入事業となっております。

当市では教職員の勤務時間管理について、エクセルファイルへの打ち込みによる管理を実施しておりましたが、県より客観的な勤務時間が把握できる体制を整えるよう通知がありました。これに対応すべく市内小中学校21校に対し、勤怠管理付きタイムレコーダーを導入し、

教職員の勤務時間の把握を行い、必要に応じて適切な指導及び助言を実施し、働き方改革の推進を行うものであります。

以上となります。

**山本市長：** 次に生涯学習課からお願いします。

**桜井副理事（生涯学習課長）：** 5ページの2. 生涯学習課となります。

地域学校協働本部において、学校と地域との連携・協働を強化し、の所を「連携・協働」としたところが変更点となります。

こちらは、国の方針に従いまして、子供の居場所、放課後の安全な子供の居場所づくりから地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとか、学校を核とした地域づくりを担うことを関係者各位でする必要があることから、地域の人材の掘り起こしなど活用を強化するために変更しました。

具体的な事業名を「放課後子ども教室推進事業」から「地域学校協働活動推進事業」に変更しております。7ページに記載しております。以上です。

**山本市長：** 次に、中央公民館をお願いします。

**桜井副理事（中央公民館長）：** 中央公民館です。

6ページの4. 公民館の(3)社会教育関係団体等の育成支援のところ、関係という部分が追加となりました。これは社会団体が解散、そして高齢化、また会員の減少および活動が以前ほど活発でなくなった団体、そして減少して解散により少なくなってきたので、新たな団体や社会教育関係に類する団体を広く支援していく可能性もあることから、社会教育団体に関係を付け加えました。以上です。

**山本市長：** 次に図書館からお願いします。

**図書館長：** 図書館から、むつ市立図書館の令和5

年度事業実施計画のうち、主な2事業について御説明いたします。資料の9ページをご覧ください。

1点目は、図書館管理の適正管理に関する項目ですが、空調設備等改修事業についてです。これは、平成12年4月の開館以降20年以上が経過した空調設備のうち、集会室等のマルチエアコン系統の機器を更新するほか、新型コロナウイルス並びにユニバーサルデザインに配慮し、利用者の利便性の向上を図るため視聴覚コーナー等を改修する事業であります。

令和4年度に設計が完了しておりますので、本年度施工するものであります。事業総額は約1億1千万円を見込んでおります。

なお、施工にあたっては、図書整理日等の休館日を利用した工事区分毎の実施に努めることとし、本工事の影響による休館は最低限に抑えるよう配慮したいと考えております。

子供の読書活動の推進の項目に関わる中で、「第3次むつ市子ども読書活動推進計画」の策定について御説明いたします。

市では、平成30年4月に第2次計画を策定し、令和4年度までの5年間にわたって取り組んでまいりましたが、「子どもの読書環境の整備」や「家庭・地域・学校等を通じた社会全体での取り組みの推進」などについて、十分な結果が得られていないものと考えております。このことから、本年10月に策定委員会等を組織し、改めて現状の課題を整理して、第3次計画を策定してまいります。

以上が、事業計画の主な変更箇所の説明となります。御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

**山本市長：** 次に学校教育課をお願いします。

**石川副理事(学校教育課長)：** 資料5ページ、学校教育課の取組です。

資料6ページですが、(1)から(12)まで全部赤で書かれてますが、項目の柱立てと順番

を数字並べ替えしております。新たに(3)ICTを活用した教育活動の充実というのを新設しております。こちらは後ほど説明します。

資料戻りまして、2ページから学校教育課の事業について説明させていただきます。

(1)学力の向上、①明確な目標設定というところで、今年度新たにむつ市学校教育プランがスタートしましたので、5年の中で、このプランについてしっかり検証していきたいと思っております。

この中で、学力向上については、授業改善とICTの活用2本柱で進めていってございます。

ただ、現状としては昨年の青森県学習状況調査では、小学校、中学校とも県を若干下回っているということになっていきますので、課題を克服するために、様々な新規事業を行うつもりでございます。

一つには、学力向上に向けた協議会を年2回開催、高等教育機関との連携ということで、青森大学むつキャンパスとの連携事業を行っていく予定です。

続きまして、③主体的な学習の推進についてです。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた多様な学習活動に取組んでまいります。その一つとしてICTを活用したタブレット端末の活用ということで、具体的には算数・数学チャレンジを今年度から実施して、算数・数学のタブレットドリルを様々な時間に取り組ながらテストを行って、その後、落ち込んでいる項目をみんなでやってみて、さらにチャレンジテストを行ってやればできるという学習意欲の向上に繋がっていききたいと考えております。

続きまして、3ページ(3)夢を育む教育についてになります。

①キャリア教育の充実についてになりますけれども、先ほど市長から少しお話しがありました。今年度、コロナが明けましたので、ジュニア大使派遣事業が再開されます。派遣されるジュニア大使の安全安心を第一に計画を進めております。いま、申込続々と集まっています。前

日の説明会は、10名の募集に対し40家族が来たということで、かなり多くの方が募集に参加するのではないかと予想されます。

また、台湾陽明国民中学の訪問団が、来週月曜日火曜日当市に訪れるということで、今年度は川内中学校で交流会活動を行う予定となっております。

また、高い志を育む事業としまして、今年度7校の小中学校が申請し、こちら昨年度からとなりますけれども、それぞれ学校の実態に応じて様々な取組を行って行くという事業が引き続き行われる予定となっております。

以上が学校教育課からの説明になります。

**山本市長：** ありがとうございます。

最後に地域クラブ企画推進課からお願いします。

**畑山地域クラブ企画推進課長：** 4ページから6ページ括弧して説明したいと思います。

4ページ2 社会教育の充実、(1) 社会教育・文化の充実と文化財の保存活用、①スポーツ活動の推進についてご説明します。

令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁から新たに公表されたガイドラインでは、令和5年度から7年度までを改革集中期間として位置づけ、中学校の運動部活動及び文化部活動の地域への移行を可能な限り早期実現を目指すこととしております。

このため、令和4年度から「地域文化・スポーツクラブ設立準備室」を設置し、今年度からは「地域クラブ企画推進課」に名称を改め、文化部と運動部の一部が地域クラブ「むつ☆かつ」として活動をスタートさせたところであります。

昨年度は各種説明会を開催するとともに、指導者の募集及び研修会を開催し、83名の指導者でスタートを切ることができております。課題であったバスの経路の構築については、希望調査のもと順調に運行しております。クラブマネージャーの募集に関しましても現在5名を採

用することができました。

今年度の計画といたしましては、令和6年度から移行する運動部、文化部を調査選定し、大会出場の可否などを考慮し、生徒に不利益が生じないよう「むつ☆かつ」を運営しながら関係機関との協議や意見交換を深めてまいりたいと存じます。

5月25日現在、むつ☆かつに登録した生徒は、197名であり、全生徒数の約15%が加入したこととなります。

以上です。

**山本市長：** ただいまの事務局からの説明に対し、ご意見を伺いたいと思います。

はじめに田中委員お願いします。

**田中委員：** 教育委員と考えた場合、教育というのは子どもたちとイメージがあります。それでこの中に生涯学習とか入ってくると、もっとも年齢が上の人達もこれに入っているということですね。

**伊藤教育部長：** そのとおりです。

**田中委員：** 地域クラブスポーツクラブというのは、例えば大人がやっているクラブも対象となる？

**伊藤教育部長：** むつ☆かつに関しましては、中学校部活動の地域移行と考えてまして、スポーツの振興に関しましては、市民の皆様全員が対象です。

**田中委員：** それって、結構高齢の方がやっていますが、それも対象となっているか。あくまでも個人、チームがやっているのか、どこまでが対象となっているのか。

**伊藤教育部長：** 教育大綱におきましては、お子さまから高齢者の方まで対象にしております。

**田中委員：** 高齢なチームを何回か見たことあるんですけど、ドームでやっているところ、あのようなチームは対象となるのでしょうか。

**伊藤教育部長：** 教育大綱の実施計画なので対象となります。

**田中委員：** なっているんですね。  
そうすると、利用の届出とかも教育委員会で受けているということになるのでしょうか。

**山本市長：** 私がちょっと補足をさせていただければ。教育大綱には生涯学習を通じた学びがありまして、4ページの例えば2の(2)を見ていただければ、人生100年時代を見据えた「いつでも、どこでも、何度でも、誰でも」という意味は、子供から大人までという形になりまして、スポーツについても、先ほど田中委員が申し上げた子供から大人までというのは、「いつでも、どこでも、何度でも、誰でも」を対象にスポーツができる環境を作っていくことだとか、いま部長がおっしゃったのは、部活については、中学校地域クラブについて進めておりますけれども、むつ市としては、総合型スポーツクラブ、これはもう子供から大人までスポーツの証明に当たって活動できる組織を作り上げていく環境を作っていくことを進めていくって意味で、むつ☆かつについては、中学校の部活動の地域移行でありますけれども、全てのなんていうんでしょう、細かい一つの団体がどうこうっていうことは計画の中にはございませんけれども、ビジョンとしては、子供から大人までの生涯学習、文化もスポーツも含めてこの中の市民の皆様が、いつでもどこでも誰でも学べる環境を作っていきましょう。そういう形に進めていきたいということです。

**田中委員：** 例えば、そういう方に何か問題があ

ったりとかですね、練習の問題とか、あと費用のいろんな自己負担ですねそういう形でも多分やってると思うんですが、そういうのに対する相談というのは、教育委員会とかにしてもいいというふうに考えていいでしょうか。

**伊藤教育部長：** スポーツに関しましては、教育委員会が担当している部分と、民生部の市民スポーツ課が担当しているような状態でこちらはですねどちらも最初どちらでも一緒に行ったものではあるんですけども、今回の計画には載っていないと御理解をいただきたいと存じます。

**山本市長：** ほかにございませんか。  
それでは黒木委員お願いします。

**黒木委員：** はい。特別、ないです。何度か拝見してる話なので。あるとしたら、今回は何をチェックすればいいんだってのはちょっとわからない。前回、前回も前回の議論、今回の議論で我々が何を評価して考えればいいと。ちょっとわかった。赤字のところを考える。

**伊藤教育部長：** すいませんちょっとそこは私の方から。説明がちょっと十分じゃなかったもんですから、改めて昨年度に教育大綱、9月にですね策定いたしまして、同時に4年度の昨年度の計画をお示したところでございます。今回各課の方からですね、説明させていただく内容は、赤字のところ、つまり前回計画から変更になった部分を、説明させていただきましたのでこのような進行になっているということです。

**山本市長：** そういう意味で私からちょっと申し上げますけども、これは黒木委員のご意見にもちょっと通ずるものがあると思うんですけども。我々教育大綱を作って、この令和5年度の実

施計画が出来て、令和5年度こういうふうに反映しましたというのは、多分令和4年度こういうことが出来てなくて、こういうことを解決しなきゃならなかったんで、令和5年度こういう事業を盛り込んでいくってことなので、まずここで、今後の会議の進め方になりますけども、令和4年度の結果を踏まえて、そういう状況でした。だから変わりましたのでその報告があつて、令和5年度こうしていきましょうという、私ちょっと今回は初めてなのであれですけども、そのPDCAを回していくっていうのは、教育大綱にも書かれていますので、チェックの部分は多分、報告が皆さんにお伝えできてなくて、それに伴って赤字の部分が追加されました。この計画でどうでしょうかっていうところが多分最後のところですので、今以降ですね、そういった形の進め方にしていきたいなど。

**伊藤教育部長：** 実はですね、3月に、市長に資料渡しただけなんですけれども、この実施報告もですね、3月に委員の皆様にもお配りしまして、一応3月の教育委員会のごときですね、ご意見もあったという前提がございましたので、今回はそれを踏まえてその課題と報告そのときに残りの課題として現在変更になった部分は口頭で簡単ではございますけれども、今説明させていただいたということで、申し訳ございません。次回からは今市長が申しました通り、報告の場面と、計画の場面を同時にですね、同じ改善を進めていきたいというふうには考えています。

**山本市長：** 黒木委員から令和5年度に事業について、こういう施策があるのでという意見をいただければありがたいと思います。

**黒木委員：** 3ページの(3)①キャリア教育の充実とありますが、よく分からないことがありまして、自分が大学生就職を控えてたその

ぐらいの年齢になった世の中に、どんな仕事があるのか正直わからなかった。知ってる仕事って、学校の先生、警察、消防士、あとテレビドラマに出る弁護士、医者。それって多分、今はもう変わらない。今の大学生でインターンとかいるんで、3年生ぐらいにもわかるんでしょうけど。例えば、キリンビール勤めたら毎日ビール作ってるのかっていうとそうじゃないわけですよ。ということはですね、キャリア教育っていうのを、工場見学のようなものにしない方がいいんじゃないかなって思います。そういう意味で日本中から誰かに頼って人連れてこないと思っはいけないんじゃないのかなと思う。例えばカゴメの社長が来ました。よくわかんないけど、なんちゃら、昔の同級生が今なんかやってる、何とか工業のまた連れてくる。そういうふうにしなないとなんか市内でやるってめちゃくちゃ限られる。パン工場見学に行きます。吉田ベーカリーさんありがとうでもいいんですけど、それ小学生ぐらいで多分、終わり、それ以上のキャリア別会社より私なんかのそういう何でしょう、よその会社の面白い人連れてきて、サラリーマンに喋ってもらおう。サラリーマンでもよその会社わからないっていうのが実態なんで。そういうふうにしなないと、キャリア教育、無理なんじゃないかなって。僕の疑問はそれですね。市内で知ってる人のところに何か、行けたとして、工場とか、ちょっとわかんないんですけど、1年後とか横浜市で、学校の先生誰に何聞いたんですから。もうキャリア教育です。宇宙飛行士の何とかさんも呼んであつてそれキャリア教育っていうか。要するに著名人有名な面白い人の話。子供に聞かせて飽きさせないようにさせるっていう程度のことしか、これ以上のことってできないってなっちゃうんですよ結局。そこから突然地元の工場見学の間のギャップの部分はあまりにも巨大で、しかもここが世の中の99%を占めていって、ここ、どうにかしてフォロー

一できればいいんじゃないかなっていう希望持ってます。

**山本市長：** 学校教育課から何かありますか。

**石川副理事（学校教育課長）：** キャリア教育については、様々な活動を行っております。具体的にいうと中学校2年生で数日間市内であったり、青森市、八戸市に行って、自分が選んだ職業を体験するという、体験的な活動、また、学校教育課もやっておりますが、外から県内出身者を呼んで講演会を開いていくことを定期的に行っている。こちらは今年度各学校から希望を取り、現在調整を行っております。

それから、何かをすることをキャリア教育と捉えているのではなく、普段の学校生活、学校行事一つ一つがキャリア教育に繋がっているという考え方で、各様々な行事にキャリア教育の視点を取り入れて、子供たちに体験させたり、活動させたりして学んだことを次の活動に繋げたり、そういう様々な視点でキャリア教育を進めているのが現在の状況です。黒木委員の御意見を参考にしながら、施策に反映させて行ければと思っています。

**山本市長：** はい、ありがとうございます。私からも一つ。

今の小学校だとイベントっていう形で学校に実際に移して、働いてる方に来ていただいたり、中学校では職業体験があると思うんですけど、このコロナの3年間でオンラインでの活動はだいぶ加速度的に進みましたので、特にむつに来ていただかなくても、いろんなところと繋がってやれると思いますし、昨日DXのもちろんDXの会議出たときも教育長と一緒に出ましたけれども、あのメタバースは仮想空間で、自分が仮想空間に行って、仮想空間でいろんな職業体験もできる時代になってきましたので、今すぐっていうことは

私ももちろん申し上げませんが、そういったオンラインを活用しながら、仮想空間を活用しながら様々ですね、キャリア教育ができるような環境を作っていくっていうことを言っていたと思いますので、是非ですね、地方のむつ市ですから、職業を選ぶ選択肢が狭い地域ですので、いろんな職業を体験できるキャリア教育できる環境ですね。これからも作っていく必要があるんじゃないかなと思いますので、ぜひ今後、計画に反映いただければと思います。

**黒木委員：** はい。単なるアイデアではありませんけど、そういうふうに例えば予想、目玉でインターネットからを通じてパーとやるにしても、そこそこの人に話をしてもらおうと思うと、結構大変だと思います。大変とは、時間、場所のタイム、スペースの拘束が。なので、これについてはもう市内の小学校全部一遍とかわかんないですけど、こういう単位でっていうのは限界があまりにもあるような気がしてしょうがないんですよ。だから市でやる、小中一遍にやるぐらいのそういうスペースがあるかどうかちょっとわからないんですけど、それで例えばなんでしょう。麒麟の社長に話してもらったんですよ。例えば、そういうふうにした方がいいんじゃないでしょうか？学校個別でだと、できることにちょっと限界が素人で考えて見えてしまうっていうあるかなと思うんですけど、いかがでしょうか？

**石川副理事（学校教育課長）：** 先ほどの講演会については、複数の学校で1人の講師というのを行っております。こちら各学校で子供たちの実態に応じて、どのような講習希望するかというのを選んでいただいて、同じ講師であれば、むつまでに近い方に来ていただけるということです。金額であれば1回で済む形ができないものかというのにも検討してご



ざいます。あくまで各学校でどのような講師を希望するかっていうのを優先して、こちらから、この方の講師なので多くの方に聴いてくださいということよりも、各校の希望をとった上で、講演会を実施したいというふうに考えております。ただ、昨年度も川内の方ですね、演劇家の講演会を開いたときには、その他の学校にも案内の方を送って、参加者を募るといったケースもございましたので、そういうふうな臨機応変の対応も出来るだけしたいと思っております。

**山本市長：** はい、ありがとうございます。

できればタブレットとかも使いながら、実際に行けなくても、できる空間がこれからできると思っていますので、ちょっとどういう使い方ができるかあれですけども、そういうのも含めながらやっていただければと思います。黒木委員から他にありますか？

**黒木委員：** 平田オリザさんの話を聞きましたけど、それって著名人の講演なんですねやっぱり。演劇の演出家になる人って、日本人全員の0.001%とか、もっと少ないから。なんで、もっと普通の、なんていうんでしょう、グーグルの平社員ですとか、そういう人の話をすればキャリア教育で有名な人の話を聞き、よかった面白かったっていうのはキャリア教育だとはい到底思えない。ことだけなんですよ。そんな細かいこと言わずに面白い人の話を面白い話を聞かせりゃいいじゃんってなったらそれはそれで結構なことなんじゃないかとは思いますが。キャリア教育っていうんだったら、本当にキャリア教育の専用の場を設けた方がいいし、先ほどあった日常は教育の場のキャリア教育ってのは僕は逆にやめた方がいいと思いますよ。ちゃんと勉強させた方がいい。数学算数勉強するのにこれをやると将来、土木建築課になれるんだよとかそもそもどうでもいいなっていう感じがするんですよ

ね。勉強するのは何が目的。常識人になって教養人になるためにあるんで、どんな職業それをキャリア教育と、変なふうに粘着しない方がいいと私は思います。

**山本市長：** ありがとうございます。

本当に宇宙飛行士みたいなのも、必要だと思います。さっき言ったグーグル平社員っていうのも一般的なキャリア教育だと思いますので、是非ですね、むつ市の子供たちは様々な体験ができるような環境を作っていくっていう目的が一緒だと思いますので、そこを一生懸命皆さんと一緒に議論していければなと思っております。

次に、納谷委員をお願いします。

**納谷委員：** 赤字のところ、3ページの(3)これ新しく入ったと思うんですね。自分で健康的な生活を送ろうとする態度を養うこと。「態度」っていうことがちょっと引っかけたので、すいません細かくて。何かその、ちょっと意味合いが変わってくるかもしれないですけど、目標とする「習慣」とか、という言葉の方が、なんか私の中ではしっくりっていうちょっと検討してほしい。あと、これも今更というかあれなんですけども、むつ☆かつという活動を、地域文化スポーツクラブのことで、毎回言ってるんですけど、やっぱり川内とか脇野沢とか大畑とかからやっぱりむつ市の方に来て、活動するのすごく大変なことなので、何か学校で放課後に子供たちに負担のないような形で何か活動できるようになるかなっていうふうにいるいろいろ考えたら、今、eスポーツって今子供たちも多分すごく興味があると思うんですけど、すごくいいものじゃないかなと思いました。eスポーツであれば、それこそその場所でインターネット整備ができていればできるものなので、子供たちにすごく興味があるものだと思いますし、いろいろスポーツといえどもゲームをやるっていう

形にはないので、選定する種類であったりとかどうしてもめり込んでしまってそっちにばかりとかっていうサーバーとかもいっぱいあると思うんですけども、でも正式競技にもなるぐらいのものになってきているので、すごく中央から遠い地域の子たちは、もちろん中央にもそうなんですけども、すごく活動しやすく、そんなに体力的にも、負担がかからないような形なので、とにかくそのインターネットに関してはタブレットの関係で環境はもう整備できているので、その取り組みやすいようなものなのかなっていうのもちょっと提案。そういうのもあるんじゃないかなと思いました。

あと、ちょっとすいません、健康教育、キャリア教育と健康教育等ですが、私の子供たちが学校に行っているときに、弘前大学の中路教授が来てくださって、血圧計を出して下さって、ちょっと長期間毎日、血圧を測っていったって血圧が高いとか低いとか、そこで生活習慣病とか、成人病とかの関連の講義をしていただいたりとかっていう機会があったんですけども、終わった後に先生とお話したときに、これ1回だけだともったいないから貸し出してやることは可能だからどうですかって話を中路先生はおっしゃってくださったんですけども、やっぱり学校側としては、1回のイベントじゃないんですけども、行事としてやっているの、またずっと続けてやっていくってことは多分、学校では難しかったので、1回だけの活動になってしまったので。でも結局その生活習慣病とかって1回だけの話ではなく、なんていうんでしょう、せっかくのチャンスもなかなか手を出していけない学校の環境もあるのかなっていうふうにありますので、せっかく良い機会っていうのも、もしかしたら続きできる環境つのがちょっとなれたなと思いました。

**山本市長：** ありがとうございます。

3ページのキャリア教育のウの所は、修正できると思いますので、対応いただければと思います。

あと、eスポーツの所は、地域クラブ企画推進課で何かありますか。

**畑山地域クラブ企画推進課長：** 当初ですね、eスポーツの方も考えたんですが、かなりの予算がかかります。そのゲーム種類にもよりますが、すごい速いやつってのは1台何百万もします。多分タブレットでできるようなeスポーツっていうのはなかなかないんですね。なので、その辺も予算をちょっと考えながら検討したいと思っています。

**山本市長：** できることからやります。そこで必要なところは、とりあえず始めていくっていうことは一つの手だと思いますので、子供たちの要望に応じた活動をこれからもむつ☆かつは取り入れてくれてると思いますので、そういったこともしてほしいなと思います。

先ほどの血圧の話でありますけれども、そこ方は少し今回の提案でありましたけれども、7ページの管理ソフト、職員からソフトが入りますので、本当にそこですね、職員の教員の皆さんの働き方改革を進めていただいでですね、子供たちと向き合える時間が少しでも多くなればいいと思っております。こないだ教育長とも少しお話をさせていただきましたけれども、スクールサポートスタッフ、今年度5名配置してですね、あの教員の皆さんの負担がだいぶ軽減されてるっていう声を私も聞いておりますので、今後ですね、教員の皆さんの負担がいくらかでも軽減できて、そのことで教員の皆さんが、子供と向き合う時間があってですね、血圧だけではないですけども、新しい取り組みをですね、ちゃんどできるような形にしていきたいと思っています。まずは本当にこのシステムでしっかりと教員の皆さんの働き方を変え、変えるきっかけに

ただ単に本当にチェックだけするっていうことではなくて、これをきっかけに教員の働き方を進めてほしいと、私自身も思っておりますので。その結果が多分来年あたりですね、導入したらまだ結果が出ないといいますけど、それによって職員の勤務時間もわかると思いますので、ぜひそういうきっかけにして、令和5年度の実績のときにですね、報告いただければと思います。

ほかにありますでしょうか。

(なし)

それでは続いて長岡委員、お願いいたします。

**長岡委員：** 全体としては5W1Hになってくれるよう考えていこう。いつどこで何を誰というふうなところは見られてるのかな、入っていないというわけではないですが、ぜひそれぞれの部署においては、なぜw h yですね。なぜこういったことをしなければいけないのか。理論の視点と、あとはどのようなHOWです。どのようにということについては、是非工夫を凝らして、これから計画を推進していただきたい。そのとき、ポイントになることとしては、この地域ならではの強みを評価して、弱みを補うような、そういった実際の計画にしていきたいと思います。弱みを見直すというところに関して言えば、他の教育委員の皆さんもお話してましたけど、オンラインを活用するんだと。あとはその出身で、各地で活躍しているような職業人がたくさんいるわけで、そういう人たちを校内で繋いだり招聘したりして、キャリア教育に協力をしてもらおう。そういった方向性がとれる。強みと言われるものを把握した上で実施をしていただきたい。

あと、具体的な細かなところに関しては、キャリア教育については、黒木委員おっしゃる通り、聞く方ということでスクール形式でこれがやるところ多いと思うんですけども、

計画の中にはキャリア教育講演会、具体的に書いてありますが、どうしても講演会というとなようなスクール形式で、やり方に固定観念を持ってしまう。キャリア教育事業として、多様なその方法を取ってもいいのではないかと思います。

私も関わってるNPO法人ぶらっと下北では、中学校で、地域で活躍してる職業人10名程度、こちらの方をお願いして、車座になってそれぞれの関心のある子供たちに入ってもらって、面と向かって仕事のやりがいはどうなのかっていう、双方向で対話をするというような事業のお手伝いをしています。そういった手法もぜひ駆使していただきたいと思います。

他の教育関係に関わる講演会で、今までのこの授業の仕方ですとか教育の仕方をイノベーションで変えていくべきだというような趣旨のことを話しましたので、是非固定観念を持たずに、このキャリア教育については推進していただきたい。

最後ですけど、むつ☆かつに関しては本当に苦労しながら、推進課の皆様、尽力しておられますし80人以上の講師の方々が協力してスタートしているわけでありまして。やはりそういった取り組みをしているということが一般の市民、特に父兄じゃない形にしてみると、ちょっと自分たちのあずかり知らないところでも、もう閉じられたみたいに行われているというふうに思われぬように、今後、特に地域文化クラブで活動している生徒さんたちが発表する場、そういったものを今まではその学習発表会とか文化祭みたいな形で発表。各学校単位でやってもらおう。難しいからいろんな学校が横断してやっているところもありますので、是非そのアウトプットの場をできる限り設定をしていただきたい。それがモチベーションアップに繋がるのではないかと思いますし、市民がそういったことに関しての理解を促進するための大切なきっかけに

なるのではないかと。是非そういったところを期待したい。

**山本市長：** はい、ありがとうございます。全般的に5W1Hの話をどのようになっていくところ全体的にもしあれば教育部長から。

**伊藤教育部長：** 去年、その教育大綱っていうのを策定しまして、これは、その理念を持って作ったものだと思います。それを実際の具体化するために事業を遂行しないとイケない。ということで、委員皆さんからいただいたご意見につきましては、実際やって、やっていくのかっていうところを考えていきたいと思えます。またなぜやらなきゃいけないのかっていうような、どういうふうにごやっ工夫してるんですかっていうところに関しましても、やはり11月ですね、中間報告進捗の報告がございますけれども、そのときにしっかりとした形で報告できるような形で、もう一度整理してですね、実際の事業に取り組んでまいりたいと思えます。

**山本市長：** はい、ありがとうございます。キャリア教育の講演については、学校教育課長何かありますでしょうか？

**石川副理事(学校教育課長)：** はい。オンラインも活用しながら、様々な視点からですね、今までの取り組み以外にも何かできないものかというふうにご検討したいと思えます。またスクール形式の話を聞くだけではなく、対話型についてもですね、状況に応じて、可能な範囲でも、こちらコロナ明けでもありますのでですね、近い距離で講師の方とお話をしていくとかいう形も取り入れていきたいと思っております。

今年度ですね、県の事業になります、むつ中学校でキャリア教育の事業が行われる予定になっておりますが、そちらはかなりの大

人の方が、10数名ですか、来て、子供たちがそれぞれ一人ずつに着くという形で、まさしく長岡委員の話にありましたように、対話型のキャリア教育の各講演会を開催する予定になっておりますので、そういった大きな学校でもそんな形で取り組まれているということをご私の方でもですね、十分に検討しながら、生かしていければなと思っております。ありがとうございます。

**山本市長：** はい、ありがとうございます。

講演会っていう名前がちょっとわかりませんが、そういうところも含めてワークショップ形式っていう対話形式でやっていくことが大事なんだろうと思えます。ぜひよろしくお願ひしたいと思えます。

あと部活の発表の場っていうところについては、畑山課長からも、はい。

**畑山地域クラブ企画推進課長：** はい。いろいろ発表の場はあつてですね、なかなか一堂に会してっていうのは、まだ正確にはありませんが、一応、青大のキャンパス祭と一緒に発表できるかな、がいいかなと模索しております。

あとは市民文化祭もそのままかな。あとはクリスマス会とか。その他家庭クラブでの料理の発表会とか、そういうのを。いろんな、一緒にではなくて、各部活動でいろいろやっていこうかなとは思ってました。直近では、フェスティバルのところにダンスを今ちょっと出させようかなっていうところで今検討するところでもあります。

**山本市長：** はい、ありがとうございます。

もう本当に発表の場っていうのは、多分むつ☆かつだけっていうことでは、多分、長岡委員持っていないと思えますので、その地域のいろんなイベントに部活の生徒たちが発表する機会がある、地域の交流が図られると思えますので、そういう機会是非作っていただ

きたいなど。

長岡委員からほかにありますでしょうか。

(ありません)

それでは最後に、阿部教育長お願いいたします。

**阿部教育長：** はい教育委員の1人としてではなくて、教育委員会事務局としたお話をさせていただきたい。

今日説明させていただいたことに関しては、何としても達成しなければならないと考えています。

なканずく、学力の向上、そして中学部活動の地域移行、そして子供たちの充実した生活のための校務改革。この三つを最重要課題として捉えて、必ず実現しなければならないと考えています。子供たちの成長に直結するからです。

教育大綱は5年間の計画です。そして、実施計画は単年度の目標管理であると捉えています。この1年間でこれを実現するそうしたものが記載されています。

先ほど部長が話してくださった中間報告が11月にあります。そして、最終報告が来年度の5月にあります。その場で結果を申し述べたい。可能であれば、こういう結果なので、上方修正をいたしました。そのようにしてもらいたいと考えています。

そして、皆様からいろいろお話を伺う中で改めて思ったんですけれども、我々義務教育の人間が人生100年のうちの9年間を預かっているんですけど、社会に出て、むつを離れて、将来どこでも自らを助ける力、能力をしっかりと身に付けさせ、そんな思いをお話を伺いながら、感じました。皆さん方の理にかなえるよう努めてまいりたいと思いますので、これからもご指導よろしくお願ひしたい。

以上です。

**山本市長：** はい、教育長ありがとうございます。

最後となりますが計画全般について、委員の皆様から何かあればご発言をお願いしたいと思います。

(なし)

最後に私から一言申し上げたいと思います。

教育大綱の大きな柱の一つに、学力の向上がありますけれども、県の学習状況調査の平均値を上回ることを目標としていきたいと、私、思っておりますことは、各委員からありましたけれども、本当に今までのやり方を、前市長もおっしゃってたと思いますけども、今までのやり方をやっぱり変えていかなきゃいけないという思いを私自身も引き継いでおりますし、イノベーションを起こしていきたいと思ひます。それには今までやってきたこと、むつ☆かつもそうでありますけれども、今までやってきた方法変えるっていうときには、必ずいろんな意見が出ますけれども、本当に子供たち目線で行ってきたいと思ひますし、そういう思いで私も行ってきたい。

実は私、就任してすぐに、学校教育課の朝礼に出て、学校教育課の皆さんにお伝えしたことが一つだけありました。

とある学校のとある学年の学級協議学年協議会の今年度の活動目標を目にする機会がありまして、そこに書かれている言葉がですね、お互いに認め合い、安心して過ごせる、笑顔絶えない学年にするっていうことを書いてくれている子供たちがいてですね、本当に素直にですね、すごいなと思ひました。豊かなこころとここに書いてますけれども、それを体現した発言をしてくれている。

目標ではあるかもしれませんが、そういう思いを子供たちが思ってくれてるっていうことに、私は子供たちに希望を感じましたし、これからもこの子供たちを成長させていかなきゃいけないという思いを非常に持ちました。皆さんとともにですね、本当にこの教育大綱に掲げられている学力の向上だけではなく、キャリア教育も含めて、豊かな心の

育成にも、皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思いますので、どうか皆さんのお力をお貸しいただければと思います。

以上ですね、令和5年度むつ市教育大綱事業実施計画を承認にすることになりますけれども、皆さんよろしいでしょうか？

(異議なし)

ありがとうございます。

意義はないようですので、ご意見はたくさんありますけれどもしっかり反映させていただいて、この内容で決定をしたいと思います。

教育委員会事務局におきましては、子供たちが学ぶ意義を理解して、高い肯定感を持ち、困難に立ち向かう、生きる力が育まれること、また、市民の皆様が生きがいを持って豊かな人生を送れるよう事業を進めていただきたいと思います。

なお、事業の進捗状況を確認するため、年度途中で総合教育会議を開催いたしますので、委員の皆様につきましては、保管して下さるようお願いいたします。

以上をもちまして議事を終了させていただきます。事務局にお返しいたします。

合教育会議を閉会いたします。本日の協議内容につきましては、要点をまとめた上で、むつ市公式ホームページへの掲載により公表することといたします。本日は誠にありがとうございました。

(終わり)

### 3. その他

**事務局：** はい。それでは議事の中でも市長の方からその他についての進行考えがありましたけれども、次第の中にもその他とありますので、改めまして委員の皆様からありますでしょうか。

(なし)

それではないようですので、以上とさせていただきます。

### 4. 閉会

**事務局：** これをもちまして、第23回むつ市総